≪２０１７年４月（通算 **248** 回）月例会報告≫

＊＊＊

マーケティングの観点から見た
2019 年ラグビーワールドカップ組み合わせ試案

井上俊也（大妻女子大学教授）

＊＊＊

【日　時】2017 年 4 月 18 日（火）19：00～21：00（終了後は近くの中華屋で懇親会　～0：00 ごろ）
【会　場】筑波大学附属高校 3F 会議室（〒112-0012　東京都文京区大塚 1-9-1）
【テーマ】 マーケティングの観点から見た 2019 年ラグビーワールドカップ組み合わせ試案
【演　者】 井上俊也（大妻女子大学教授）
【参加者（会員・メンバー）10 名】
安藤裕一（㈱GMSS ヒューマンラボ）、井上俊也（大妻女子大学）、浦和俊介（立川市富士見町 7-1-205）、奥崎覚（Qoly）、嶋崎雅規（国際武道大学）、徳田仁（㈱セリエ）、名方幸彦（文京教育トラスト）、中塚義実（筑波大学附属高校）、守屋俊英（世田谷区サッカー協会）、守屋佐栄（世田谷区生涯大学事務局）、
【参加者（未会員）11 名】
長谷川仁（ヤマハ発動機㈱）、伊藤秀志・小柳津和彦（袋井市企画政策課）、長岡茂（Espoir Sport㈱）、保科たまき（徳田氏友人）、大谷隆之（徳田氏友人／古河インフォメーションテクノロジー㈱）、片上千恵（帝京大学／メディアトレーナー）、香西武彦（Honda）、北島温子（中央大学高等学校）、玉澤正徳（笹川スポーツ財団）、川名紀義（㈱ピージー）
【報告書作成者】浦和俊介

＜目　次＞

Ⅰ．プレゼンテーション
　１．はじめに
　２．ラグビーワールドカップとは
　３．**2015** 年イングランド大会の日程検証
　４．**2019** 年日本大会の開催日程試案
　５．国別の過去 **2** 大会との比較
　６．おわりに
Ⅱ．ディスカッション

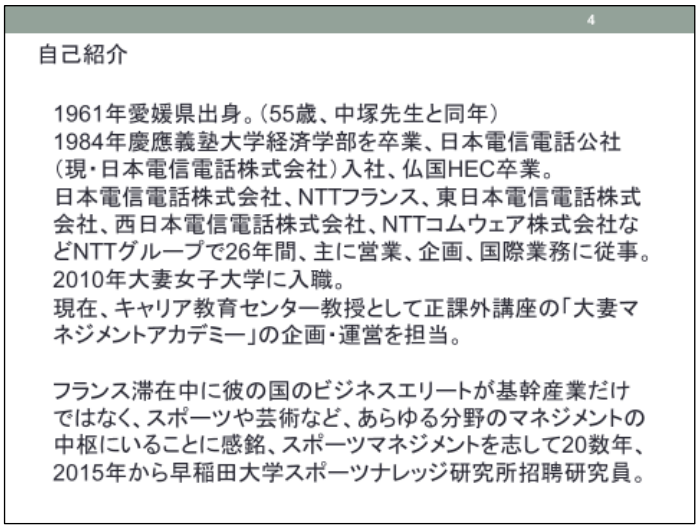
Ⅰ．プレゼンテーション

１．はじめに

井上俊也と申します。私は中塚先生と同い年の 55 歳で、昭和 59 年に現在の NTT に入社しました。フランスのビジネススクールに留学したこともあり、26 年間のサラリーマン生活を経て、縁あって 7 年前から大妻女子大学で教員をやっております。

キャリア教育センターの教授というポストですが、教育面では大妻マネジメントアカデミーという正課外講座の企画ならびに運営をしております。

研究面ではスポーツマネジメントがテーマです。これは私のフランス留学が影響しています。フランスではいわゆるビジネスエリートが基幹産業だけでなく芸術やスポーツなどあらゆる分野のマネジメントとして活躍しています。サッカーで言ったらどんなチームにも背番号 10 の司令塔がいると考えていただけばいいでしょう。逆に言えばフランスの弱さは基幹産業に人が集まらないところです。人材が基幹産業に集中している日本との大きな差です。

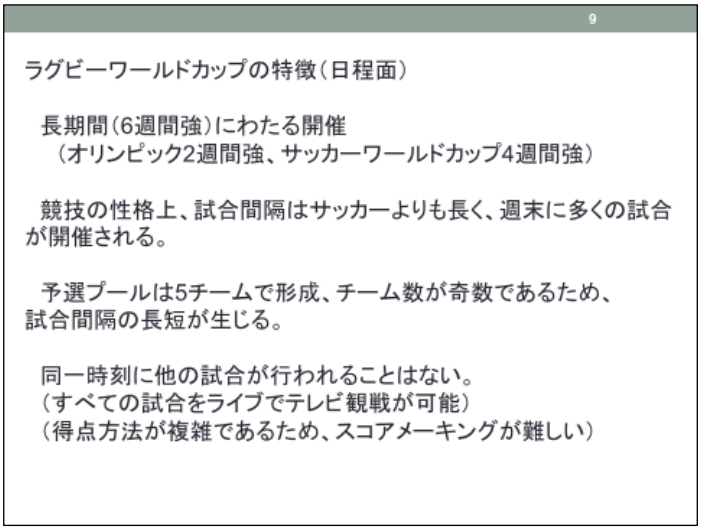


またスポーツについては早稲田大学スポーツナレッジ研究所の招聘研究員をしています。

サロンとのかかわりは 1995 年に中塚先生と学会でお会いしました。当時社心グループと言っており、私は撮る方の写真だと思ったのですが、社会学と心理学の社心だとわかりましてそれ以来サロンとかかわっております。サロン 2002 でお話しさせていただくのは今回が 5 回目となります。

２．ラグビーワールドカップとは

さて今回はラグビーのワールドカップについて報告させていただきます。ラグビーワールドカップは 2015 年に行われ、次は 2019 年に日本で開催されます。このサロン 2002 はサッカーオリジンの方が中心かと思いますが、2002 年にサッカーのワールドカップを日本で開催した際、アジアで初めて、本大会に出場したことがない国が開催する（1996 年の開催決定後の 1998 年大会に初出場）、開催国で初めて決勝トーナメントに初めて残ることができないのではないか、などいろいろな初めてがありましたが、今回日本で開催するラグビーのワールドカップには大きな初めてがあります。それが初めての「有力国以外での開催」ということです。ラグビーワールドカップを語るについてあたってこの「有力国」という概念はとても重要です。



ラグビーのワールドカップの第 1 回は 1987 年です。メジャーなスポーツで世界選

手権、ワールドカップの開始がこんなに遅いのはラグビーだけではないでしょうか。
　それではラグビーワールドカップの特徴について紹介していきましょう。

◆ラグビーワールドカップ大会運営の特徴

　シードに関してですが、開催国シードはありません。あくまでも組分け抽選の時点の世界ランキングで 1 位から 4 位までに第 1 シードが与えられます。これは他のスポーツではあまり見られないラグビーワールドカップの特徴です。
　前回大会でイングランドが予選落ちしましたがイングランドは第 2 シードでした。初めて開催国が決勝トーナメントに出場できませんでした。
　世界三大スポーツイベントの 1 つですが、長期間の開催となります。ラグビーは 1 週間に 1 試合しかできないです。オリンピックは 2 週間、ワールドカップは 4 週間、ラグビーワールドカップは 6 週間。ただ主催者のホームページを見ると 7 週間と謳っています。
　週末に始まり週末に終わるということで 7 回週末があるということですね。オリンピックは 3 回週末があり、サッカーワールドカップは 5 回ですね。
　ラグビーは 1 週間に 1 試合ということなので多くの試合が週末に開催されることとなります。予選プールは20か国を5チームずつ４つのプールに分けるので奇数なので試合のない余りのチームが出てしまう。「どうするのだろう？」これがワールドカップの組み合わせの妙味となります。
　サッカーのワールドカップの場合はグループリーグの最終戦は同一時間にキックオフされます。1982 年大会の一次リーグの最終戦のオーストリアと西ドイツの試合でいわゆるスコアメイキングが行われてしまった。西ドイツが 1－0 で勝利すれば両方上に行けるという試合を作ってしまった。それを契機にグループリーグの最終戦は 2 試合同時にキックオフとなりました。つまり全試合をライブでテレビ観戦することはできません。
　しかし、ラグビーワールドカップの場合は全試合をライブでテレビ観戦することが可能です。これはラグビーの場合は得点の仕組みが複雑なので、そのようなことは難しいからでしょう。その気になればすべての試合をライブで見ることができるというのはファンにとってはうれしいことです。
　得点方法がシンプルなためスコアメイキングや引き分け狙いの可能性のあるサッカーはその点では不幸なのかもしれません。ブラジルワールドカップのグループリーグ最終戦でギリシャ対コートジボアール戦を解説した岡田武史さんみたいなことが起こってしまうわけです。
　野球でも時間をずらして開催しても問題ないでしょうね。

◆有力 8 か国中心のラグビーワールドカップ

　1987 年に世界選手権に相当するワールドカップが始まり 4 年に 1 回開催して 2019 年大会が 9 回目となります。今までラグビーの有力 8 か国（ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカ、イングランド、スコットランド、アイルランド、ウェールズ、フランス）でワールドカップは開催されこの 8 か国中心で動いています。
　これまでに開催されたのはこの 8 か国だけです。また、8 か国が進出する決勝トーナメントも 9 割がたはこの 8 か国で占められています。

◆有力 8 か国の過去の戦績

　有力 8 か国の過去の成績ですが、今まで 8 大会ありましたが×が予選プール敗退、南アフリカは最初の 2 大会はアパルトヘイトで出場できませんでした。
　第 3 回でウェールズに×がついていますが第 2 回でウェールズが予選プール敗退し、シード落ちしてしまったため、ニュージーランド、アイルランド、ウェールズ、日本という歴史に残る死のグルー

プに入ってしまいました。日本はニュージーランドに 145 点取られて大敗しましたが、プール分けも厳しかったといえます。

10

有力8か国の過去の戦績

	NZ	豪州	南ア	イングランド	スコットランド	ウェールズ	アイルランド	フランス
1987	優勝	4位	—	ベスト8	ベスト8	3位	ベスト8	準優勝
1991	3位	優勝	—	準優勝	4位	×	ベスト8	ベスト8
1995	準優勝	ベスト8	優勝	4位	ベスト8	×	ベスト8	3位
1999	4位	優勝	3位	ベスト8	ベスト8	ベスト8	×	準優勝
2003	3位	準優勝	ベスト8	優勝	ベスト8	ベスト8	ベスト8	4位
2007	ベスト8	ベスト8	優勝	準優勝	ベスト8	×	×	4位
2011	優勝	3位	ベスト8	ベスト8	×	4位	ベスト8	準優勝
2015	優勝	準優勝	3位	×	ベスト8	ベスト8	ベスト8	ベスト8

有力8か国は89%という高確率で決勝トーナメント進出
有力8か国を押さえて決勝トーナメント進出は4回のみ
西サモア（1991）、アルゼンチン（2007、2011）、フィジー（2007）

日本は全部出て×。予選プール敗退です。皆勤賞なのに及第点である決勝トーナメント進出を達成したことがない国はルーマニア、イタリア、日本の 3 つだけです。

日本は前回のイングランド大会で南アフリカを破ったものの予選プール敗退となりました。そもそも強豪 8 か国を破って決勝トーナメントに進出することが極めて少ないです。フィジーが 1 回、アルゼンチン、サモアが 2 回の計 5 回のみ。それほど有力国に勝って上に行くのは難しいことなのです。

有力国がこれだけの成績を残しているのは理由があります。サッカーを含む通常の競技の場合、平等に大会運営が行われます。ところがラグビーは全然違います。最近はやりの言葉を使えば忖度だらけです。後で説明しますが、強くて人気があるチームを中心に運営されています。

例えば前回の2015年ワールドカップで日本は中3日でボロボロの状態でスコットランドと試合をして敗れました。多くの日本のファンは被害者意識を持っていると思いますが、まだまだかわいいものです。

試合の間隔だけではなく、試合の行われる会場、試合の行われる時間帯などについても有力国が優先されるスケジュールとなっています。

有力国は試合間隔だけではなく、収容人員の多いスタジアムで、自国のファンが時差のある本国でテレビ視聴しやすい時間帯に試合が設定されています。チケット収入は開催国の収入になりますので、人気チームすなわち有力国は収容人員の多い大きなスタジアムで試合を行います。

またこのような有力国を優先できるスケジュールが可能となるのは先ほどお話しした「5 か国で予選リーグ」を開催することによるいびつな日程が生じるからです。

5 月 10 日に組み合わせ抽選が行われます。今日の話を聞いていただいたうえで組み合わせ抽選を楽しんでいただければと思います。

３．2015 年イングランド大会の日程検証

それでは 2015 年のイングランド大会がどのような開催日程であったのかを検証してみましょう。

◆予選ビジネス不在の世界大会

まず、出場 20 か国の紹介です。ラグビーワールドカップは世界三大スポーツイベントの 1 つです。残りの 2 つは同じく 4 年に 1 度開催するオリンピック、サッカーのワールドカップです。

オリンピック、サッカーワールドカップと比べるとだいぶ差があるなと感じます。

本大会には 20 か国が参加しますが、12 か国は前回大会の成績（予選プールで 3 位以上）に基づき予選が免除されます。つまり有力国は予選がありません。マーケティング的には予選ビジネスが成立しません。サッカーでの今回のオランダのように有力国が敗退してしまうのではないかということは起きません。

ラグビーのワールドカップは出るか出ないかわからない小国が予選をやる。盛り上がらないですね。旧国立競技場の最後のボールゲームはなんとラグビーワールドカップ予選の日本対香港でした。日本が 2015 年のワールドカップ出場を決めた試合です。観衆は 1 万 5 千人でした。もう少しどうにかならなかったですね。国立最後の試合がラグビーの予選・・・よっぽど好きな人じゃないと行かないですね。これが同じラグビーでもアイルランドやニュージーランドとのテストマッチなら 5 万 8 千人くらい入ります。満員ですね。ニュージーランドとやったら 100 点ぐらい取られてしまうかもしれませんが。サヨナラ国立にふさわしい試合になりますね。

ちなみに日本は 1991 年の第 2 回大会からこれまでアジア地区で予選を戦ってきました。日本がアジア地区の相手に最後に負けたのは 1996 年のアジア大会の韓国戦です。20 年以上アジア相手に日本は負けていません。これでは「絶対に負けられない戦いがある」というキャッチコピーは、「絶対に負けない戦いがある」に変えなくてはなりません。これでは盛り上がりません。予選ビジネスが成立しないわけです。

イングランド大会の開催会場を見てみましょう。有力チームは収容人員の多いスタジアムで試合を行い、マーケティング面で大会の収入増大に貢献しています。

国内の 12 会場はイングランドの会場、国外はウェールズのカーディフですね。私が 3 つにカテゴリー分けしました。

緑で網掛けしたトゥイッケナム、ウェンブリー、オリンピックスタジアム、カーディフ、この 4 つは FA カップ決勝やラグビーの決勝が開催されるいわゆるナショナルスタジアム、日本でいうなら国立競技場です。

13

3. 2015年イングランド大会の開催会場（9月18日から10月31日）
国内12会場40試合＋国外1会場8試合

ロンドン	ウェンブリー	90,000
ロンドン	トゥイッケナム	81,605
ロンドン	オリンピックスタジアム	54,000
ニューカッスル	セントジェームズパーク	52,409
マンチェスター	マンチェスターシティ	47,800
バーミンガム	ビラパーク	42,785
リーズ	エランドロード	37,914
レスター	レスターシティ	32,312
ブライトン	ファルマー	30,750
ミルトンケインズ	スタジアムmk	30,717
グロスター	キングスホルム	16,500
エクセター	サンディパーク	12,300
カーディフ	ミレニアム	74,500

次のベージュの網掛けの部分が普通の日本人、特にサッカーファンが一番目にするスタジアムです。こんなところでやったのと言われるかもしれませんが、プレミアリーグのスタジアムを使いました。ただ、ちょっと注目してほしいことがあります。マンチェスター・ユナイテッドのオールドトラットフォードやアーセナルのエミレーツスタジアムは使われていません。つまり、チャンピオンズリーグには縁のなさそうなチームのホームスタジアムを借りています。

そして最後の黄色の網掛けは小規模なスタジアム、コンパクトでスタンドまで近いスタジアムです。

我々にはなじみのある感動のシーンを何回も見させていただいたスタジアム（ブライトン、エクセター、グロスター）はここです。ほとんど日本人に縁のない地名ですね。

さて前回大会の日程検証ですが、まずは試合間隔を見ていきましょう。中 3 日で日本はスコットランドに敗れましたが、日本は第 4 シードでスコットランドは第 3 シードでした。番付が 1 枚上の相手と中 3 日ですから、日程としては決して非常に厳しいというわけではありません。サモアには完勝でしたが、抽選の時はサモアは第 2 シードでした。

第 1 シードの南アフリカに勝ってスコットランドに大敗してサモア、アメリカに勝って 3 勝 1 敗でした。

◆一般的な大会運営について

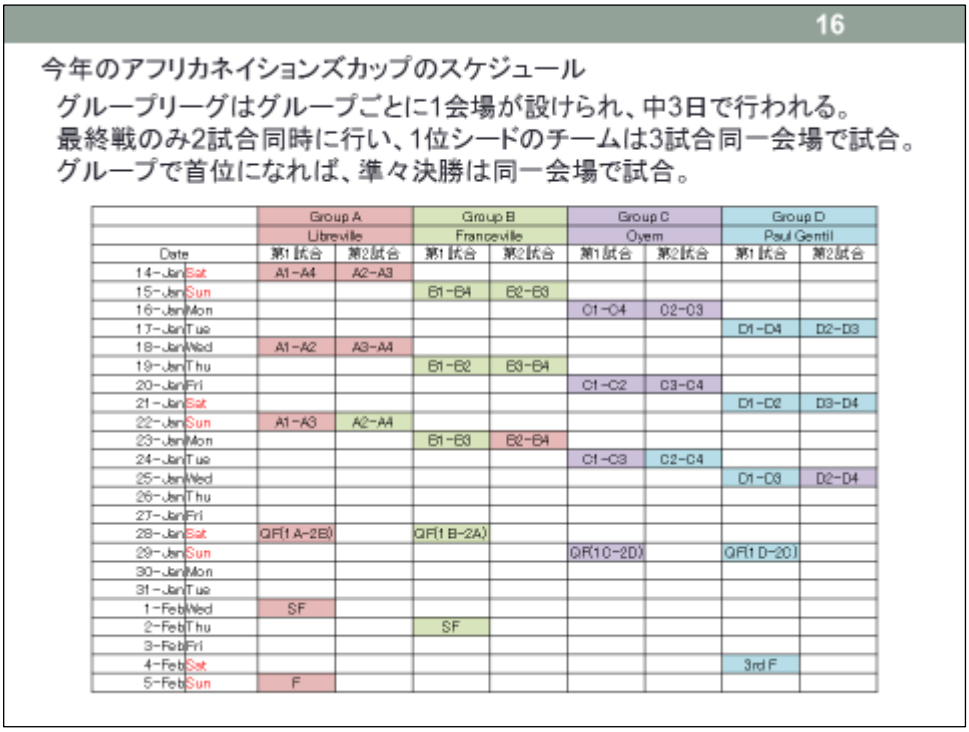
これは中塚先生や体育の先生がよく試験問題に出すと思うのですが、20 チームを 4 つのグループに分けて 4 試合ずつやるとすれば 4 日ごと（中 3 日）に 2 試合ずつやり、お休みのチームは中 8 日でやります。

東京六大学野球や東都大学野球は 6 チームからなるリーグ戦で、1 週間に 2 試合ずつやって試合のない 2 チームはお休みとなります。

プロ野球は 6 チームで 1 週間に 1 カード 3 試合を 2 回やります。

サッカーのワールドカップもこのようにやります。お休みという概念はありませんが。2015 年はどうだったか？めちゃくちゃですね。

中 3 日もあれば中 9 日もあります。中 3 日は日本対スコットランド、中 9 日は日本対アメリカです。土日に試合が集中しています。これは見る側にはいいですね。予選プールの期間中、試合がない日が 6 日ありました。



	Group A		Group B		Group C		Group D	
	Libreville		Franceville		Oyem		Paul Gentil	
Date	第1試合	第2試合	第1試合	第2試合	第1試合	第2試合	第1試合	第2試合
14-Jan Sat	A1-A4	A2-A3						
15-Jan Sun			B1-B4	B2-B3				
16-Jan Mon					C1-C4	C2-C3		
17-Jan Tue							D1-D4	D2-D3
18-Jan Wed	A1-A2	A3-A4						
19-Jan Thu			B1-B2	B3-B4				
20-Jan Fri					C1-C2	C3-C4		
21-Jan Sat							D1-D2	D3-D4
22-Jan Sun	A1-A3	A2-A4						
23-Jan Mon			B1-B3	B2-B4				
24-Jan Tue					C1-C3	C2-C4		
25-Jan Wed							D1-D3	D2-D4
26-Jan Thu								
27-Jan Fri								
28-Jan Sat	QF(1A-2B)		QF(1B-2A)					
29-Jan Sun					QF(1C-2D)		QF(1D-2C)	
30-Jan Mon								
31-Jan Tue								
1-Feb Wed	SF							
2-Feb Thu			SF					
3-Feb Fri								
4-Feb Sat							3rd F	
5-Feb Sun	F							

試合間隔については今回すごくいい例を見つけてきました。1 月から 2 月にかけて行われたサッカーのアフリカネーションズカップです。今年はガボンで開催されました。これが素晴らしいです。4 チームずつの 4 つのグループ 16 か国が出場して開幕カードは第 1 シード対第 4 シード、開催国シード

はガボンに与えられています。

最後の節はたすき掛けで、第 1 シードは同一会場で試合ができ、移動しなくてかまいません。

それでは 2015 年大会がどんなスケジュールだったかというと実際はこの表のとおりです。

15

2015年大会の実際の日程

試合間隔は最短中3日、最長中9日
土日に試合が集中（40試合中25試合）
予選プール期間中にまったく試合のない日は 6日間

	Pool A			Pool B			Pool C			Pool D		
Date	第1試合	第2試合	試合なし	第1試合	第2試合	試合なし	第1試合	第2試合	試合なし	第1試合	第2試合	試合なし
18-Sep Fri	A2-A4											
19-Sep Sat				B1-B4			C3-C4			D3-D4	D1-D3	
20-Sep Sun	A3-A5			B2-B5			C1-C2					
21-Sep Mon												
22-Sep Tue												
23-Sep Wed	A1-A4			B2-B4						D1-D5		
24-Sep Thu							C1-C5					
25-Sep Fri							C2-C4					
26-Sep Sat	A2-A3			B1-B2						D2-D4		
27-Sep Sun	A1-A5			B3-B5						D2-D5		
28-Sep Mon												
29-Sep Tue							C3-C5					
30-Sep Wed												
1-Oct Thu	A3-A4									D1-D4		
2-Oct Fri							C1-C4					
3-Oct Sat	A1-A2			B2-B4	B1-B3							
4-Oct Sun							C2-C3			D2-D3		
5-Oct Mon												
6-Oct Tue	A4-A5									D4-D5		
7-Oct Wed				B1-B5			C4-C5					
8-Oct Thu												
9-Oct Fri							C1-C3					
10-Oct Sat	A1-A3	A2-A5		B2-B3								
11-Oct Sun				B4-B5			C2-C5			D3-D5	D1-D2	

B4 の日本の試合はこうなります。9 月 19 日に南アフリカ戦をブライトンで、23 日にスコットランドとの試合はグロスターでやる。どうやって移動するのかな？ホテルあるのかなと。しかしこの両試合を見た方は数百人しかいないのではないでしょうか？ほとんどの方は日本でテレビ観戦だったと思います。ニュージーランドでもそうです。現地観戦の方が多いのは昨年の EURO のアイスランドくらいでしょう。

日本国内でテレビ観戦となると日本時間の 9 月 20 日の 0 時 45 分から南アフリカ対日本。NHK の BS1 で生中継されました。日本テレビは 20 日の昼間に地上波再放送をしていました。

23 日のスコットランド戦は 22 時 30 分キックオフ､10 月 3 日のサモア戦も 22 時 30 分キックオフでした。9 日のアメリカ戦は午前 4 時キックオフでしたが、その日は体育の日で休みでした。日本戦についてはテレビ観戦にはいい時間を与えていただいていたといえるでしょう。

テレビ観戦をする場合、陸上トラックがあるかないか、屋根があるかないかは関係ないです。何曜日の何時にやるかが大事になります。陸上トラックなし、屋根ありの競技場で日本時間の平日の朝 4 時から始まる試合と陸上トラックがあって屋根がない競技場で日本時間の土曜日の夜 21 時キックオフの試合とどちらがいいでしょうか。答えは明白です。テレビ的には土曜日の夜 21 時からですね。

◆試合開始時刻についての追跡調査

私はこれに着目し、どのような時間、曜日に試合が行われていたかを着目しました。2007 年大会以降、ラグビーワールドカップ出場した国はこれだけあり、地球儀を使って時差を並べてみました。ワールドカップは会期中のほとんどがサマータイムの時期に行われるのでサマータイムを採用しました。1 つの国に複数のタイムゾーンを持つ国（アメリカやオーストラリア）は便宜的に首都の時間を基準としました。

18

2007年大会から2015年大会の出場国と開催国との時差
（10月末までのサマータイム、複数時差のある場合は 首都の時差）

2007年大会から2015年大会の出場国	2007年 フランス	2011年 NZ	2015年 イングランド	2019年 日本
サモア、トンガ	＋11時間	＋1時間	＋12時間	＋4時間
フィジー、ニュージーランド	＋10時間	±0時間	＋11時間	＋3時間
	＋9時間	－1時間	＋10時間	＋2時間
豪州	＋8時間	－2時間	＋9時間	＋1時間
日本	＋7時間	－3時間	＋8時間	±0時間
	＋6時間	－4時間	＋7時間	－1時間
	＋5時間	－5時間	＋6時間	－2時間
	＋4時間	－6時間	＋5時間	－3時間
	＋3時間	－7時間	＋4時間	－4時間
ジョージア	＋2時間	－8時間	＋3時間	－5時間
ロシア、ルーマニア	＋1時間	－9時間	＋2時間	－6時間
フランス、イタリア、南アフリカ	±0時間	－10時間	＋1時間	－7時間
イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランド、ポルトガル、ナミビア	－1時間	－11時間	±0時間	－8時間
	－2時間	－12時間	－1時間	－9時間
	－3時間	－13時間	－2時間	－10時間
	－4時間	－14時間	－3時間	－11時間
アルゼンチン、ウルグアイ	－5時間	－15時間	－4時間	－12時間
米国、カナダ	－6時間	－16時間	－5時間	－13時間

そしてこの時差を考慮し、本国でテレビ観戦をするファンがどのような時間に試合を観戦するのかを有力国を中心に国ごとに調べてみました。

19

2015年　イングランド大会の事例

開催国イングランド

4試合中3試合はメインの聖地トゥイッケナムで試合
ウルグアイ戦のみマンチェスターで開催
金曜の夜に1試合、土曜の夜に3試合開催
試合間隔はほぼ1週間

月日	曜日	時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月18日	金	20:00	フィジー	トゥイッケナム	81,605
9月26日	土	20:00	ウェールズ	トゥイッケナム	81,605
10月3日	土	20:00	豪州	トゥイッケナム	81,605
10月10日	土	20:00	ウルグアイ	マンチェスター	47,800

まずイングランドです。私たち日本人がイングランドの試合をテレビ観戦しようとするとはっきり言ってチャンピオンズリーグの世界です。早朝の 4 時に起きて見なくてはいけない。しかし、現地では金曜日と土曜日の夜 8 時です。第 2 戦以降は土曜日の 8 時に試合が組まれ、習慣的にテレビを見ることになります。8 時だよ全員集合ですね。

開催地もトゥイッケナム（イングランドの本拠地）という大きいところで 3 試合行い、最終戦のウルグアイ戦のみマンチェスターシティでやりました。この前に 2 敗していたので完全な消化試合となりました。

時差の少ない欧州・南アフリカの有力国
週末を中心に巨大スタジアム中心に開催
アイルランド以外は中3日、中4日の試合あり

フランス（＋1時間）

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	21:00	イタリア	トゥイッケナム	81,605
9月23日	水	21:00	ルーマニア	オリンピック	54,000
10月1日	木	21:00	カナダ	ミルトンキーンズ	30,717
10月11日	日	17:45	アイルランド	カーディフ	74,500

ウェールズ（±0時間）

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	日	14:30	ウルグアイ	カーディフ	74,500
9月26日	土	20:00	イングランド	トゥイッケナム	81,605
10月1日	木	16:45	フィジー	カーディフ	74,500
10月10日	土	16:45	豪州	トゥイッケナム	81,605

スコットランド（±0時間）

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	水	14:30	日本	グロスター	16,500
9月27日	日	14:30	米国	リーズ	37,914
10月3日	土	16:45	南アフリカ	ニューカッスル	52,409
10月10日	土	14:30	サモア	ニューカッスル	52,409

アイルランド（±0時間）

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	14:30	カナダ	カーディフ	74,500
9月27日	日	16:45	ルーマニア	ウェンブリー	90,000
10月4日	日	16:45	イタリア	オリンピック	54,000
10月11日	日	16:45	フランス	カーディフ	74,500

南アフリカ（＋1時間）

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	17:45	日本	ブライトン	30,750
9月26日	土	17:45	サモア	バーミンガム	42,785
10月3日	土	17:45	スコットランド	ニューカッスル	52,409
10月7日	水	17:45	米国	オリンピック	54,000

続いてイングランドと時差のない、あるいは小さいフランス、スコットランド、アイルランド、南アフリカを見てみましょう。図の通りで現地時間で平日の場合は夜が多く、土日の場合は昼から夜にかけて開催されています。ご覧になってわかるように各国に都合のいい時間に試合をやっています。

会場も大きなところで、先ほどの緑のナショナルスタジアム、ベージュのプレミアリーグの本拠地でほとんどの試合を行っています。

有力国以外の時差の少ない欧州・南アフリカの出場国
イタリアは試合間隔はほぼ1週間で週末のみ
それ以外の国は中3日、中4日の日程もあり、週末の試合は少ない

イタリア（＋1時間）

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	21:00	フランス	トゥイッケナム	81,605
9月26日	土	15:30	カナダ	リーズ	37,914
10月4日	日	17:45	アイルランド	オリンピック	54,000
10月11日	日	15:30	ルーマニア	エクセター	12,300

ジョージア（＋3時間）

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	15:00	トンガ	グロスター	16,500
9月25日	金	19:45	アルゼンチン	グロスター	16,500
10月2日	金	23:00	ニュージーランド	カーディフ	74,500
10月7日	水	23:00	ナミビア	エクセター	12,300

ルーマニア（＋2時間）

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	水	22:00	フランス	オリンピック	54,000
9月27日	日	18:45	アイルランド	ウェンブリー	90,000
10月6日	火	18:45	カナダ	レスター	32,312
10月11日	日	16:30	イタリア	エクセター	12,300

ナミビア（±0時間）

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月24日	木	20:00	ニュージーランド	オリンピック	54,000
9月29日	火	16:45	トンガ	エクセター	12,300
10月7日	水	20:00	ジョージア	エクセター	12,300
10月11日	日	12:00	アルゼンチン	レスター	32,312

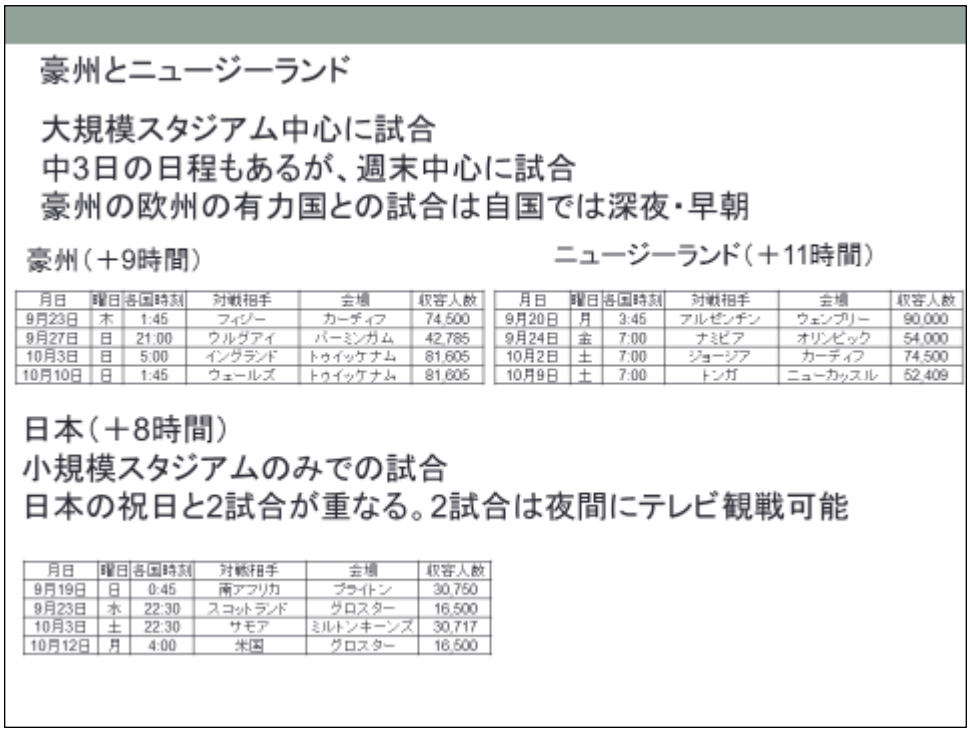
一方、ヨーロッパの B クラスはどうでしょうか。イタリア、ジョージア、ルーマニアの中ではイタリアはかろうじていい時間でやらせてもらっています。しかし、イタリア対ルーマニアはサッカーで

はいいカードですが、1 万 2 千人のスタジアムでやっています。
ジョージアは昨年ジャパンが遠征に行きましてこんなに人気があるのかと驚いた国ですが、平日に試合をやっています。

ルーマニアはウェンブリーでの試合もありますが、相手はアイルランドです。アイルランドがウェンブリーで試合をやってたまたまその相手がルーマニアだったというわけです。

そういう点で不思議なのは日本です。南アフリカ戦（ブライトン）もスコットランド戦（グロスター）も小規模なスタジアムで試合が行われました。

ナミビアはすべての試合をこのようにやって最後にオリンピックスタジアムでニュージーランドと試合をさせていただける。ニュージーランドにとっては一番小さなスタジアムです。強いチームはいい時間にいいスタジアムで試合ができるというのがこれほど露骨に表れているのです。



月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	木	1:45	フィジー	カーディフ	74,500
9月27日	日	21:00	ウルグアイ	バーミンガム	42,785
10月3日	日	5:00	イングランド	トゥイッケナム	81,605
10月10日	日	1:45	ウェールズ	トゥイッケナム	81,605

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	月	3:45	アルゼンチン	ウェンブリー	90,000
9月24日	金	7:00	ナミビア	オリンピック	54,000
10月2日	土	7:00	ジョージア	カーディフ	74,500
10月9日	土	7:00	トンガ	ニューカッスル	52,409

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	日	0:45	南アフリカ	ブライトン	30,750
9月23日	水	22:30	スコットランド	グロスター	16,500
10月3日	土	22:30	サモア	ミルトンキーンズ	30,717
10月12日	月	4:00	米国	グロスター	16,500

それでは時差の大きな国はどうなるでしょう。強豪国ではニュージーランド、オーストラリアです。ニュージーランドはそれなりにいい時間で試合をさせてもらっています。前回大会のチャンピオンです。平日朝 7 時の試合や早朝の試合があります。

オーストラリアはニュージーランドと比べても時間帯が良くないです。オーストラリアは前回大会の成績があまり良くなかったのです。これが同じ欧州で行われた 2007 年のフランス大会の時はニュージーランドが前回大会の成績が悪かったため、ニュージーランドが良くない時間帯での試合を強いられました。これはすごいインセンティブですね。

ニュージーランドに関してはイングランドで土曜日の夜に試合をすれば、日曜の朝に試合を観戦できます。またオーストラリアについてはイングランドで昼間に試合を行えば、オーストラリアでは同日の夜の試合となります。日本大会の試案を後ほどご紹介しますが、そのような考え方を盛り込んでいます。

日本については、日本独特の祝日に試合が行われるなど時間帯は割とよかったですが、会場は小規模でした。日本からあまり観戦に来ないだろうという予想もあったと思われます。また大会前は日本のラグビーはあまり評価されていなかったのでしょう。もちろん、その後は評価されていますが。

◆有力 8 か国優先の大会運営

23

大規模な競技場で有力国の試合、決勝トーナメントを実施

Cat	都市名	競技場名	収容人員	主な用途	決勝トーナメント	予選プール
1	ロンドン	ウェンブリー	90,000	サッカーの代表戦 国内のサッカーの決勝		◎◎
	ロンドン	トゥイッケナム	81,605	ラグビーの代表戦 国内のラグビーの決勝	5試合（F SF SF QF QF）	●●●◎◎
	ロンドン	オリンピックスタジアム	56,000	2012年オリンピックのメイン会場	1試合（3rd F）	◎◎◎◎
2	ニューカッスル	セントジェームズパーク	52,409	サッカー（1部）の本拠地		◎◎◎
	マンチェスター	マンチェスターシティ	47,800	サッカー（1部）の本拠地		●
	バーミンガム	ビラパーク	42,785	サッカー（1部）の本拠地		◎◎
	リーズ	エランドロード	37,914	サッカー（1部）の本拠地		◎○
	レスター	レスターシティ	32,312	サッカー（1部）の本拠地		○○○
3	ブライトン	ファルマー	30,750	サッカー（2部）の本拠地		◎○
	ミルトンキーンズ	スタジアムMK	30,717	サッカー（2部）の本拠地		◎○○
	グロスター	キングスホルム	16,500	ラグビー（1部）の本拠地		◎○○○
	エクセター	サンディパーク	12,300	ラグビー（1部）の本拠地		○○○
1	カーディフ	ミレニアム	74,154	サッカー・ラグビーの代表戦 国内サッカー・ラグビーの決勝	2試合（QF QF）	◎◎◎◎◎◎

F：決勝　SF：準決勝　●開催国の試合
QF：準々決勝　◎有力国の試合
3rd F：3位決定戦　○それ以外の試合
赤字：日本の試合

それぞれのスタジアムで、有力国、開催国、それ以外の国がどのように試合をしたかをまとめたものがこの表です。緑色のカテゴリー1 のスタジアムでは有力国の出場する試合しか行われていません。

サッカーワールドカップはこんなことはありません。今日お集まりの方はラグビーワールドカップよりサッカーワールドカップの方が詳しい、という方が多いと思います。前回のブラジルワールドカップの優勝はドイツ、準優勝はアルゼンチン、3 位オランダ、4 位ブラジルでした。この 4 か国だけがマックスの 7 試合を戦いました。

それでは開催国のブラジルはメインスタジアムであるマラカナンで何試合やったでしょうか？正解はゼロです。ブラジルは決勝まで行かないとマラカナンで試合ができなかったのです。ちなみに日本もそうです。これは抽選の結果でたまたまそうなったわけで、極めて平等なシステムで行われているといえるでしょう。

24

有力国優先の大会運営

試合間隔と対戦相手
有力国は試合間隔がほぼ均等、中3日の場合は下位国と対戦する。
→リカバリーの必要な競技であり、コンディショニングに有利
→観戦者もテレビ観戦が習慣化

大規模な競技場
有力国の試合は「大規模な競技場」で行われる。
→入場料収入の増大
→有力国の試合を見たいというファンに対応

自国でのテレビ視聴者向けの試合日程
有力国の試合は現地だけではなく、時差を考慮した自国でのテレビ観戦にふさわしい曜日・時間に行われる。
→現地観戦者をはるかに上回る数のテレビ観戦者に対応
→放映権料ビジネスの促進

FIFA がグループリーグ 4 万人で決勝トーナメントではそれ以上と基準を定めているのでサッカーの場合はくじでどのスタジアムになろうとそれほど差はありません。ラグビーの場合は大規模競技場と小規模競技場の混在を認めているので、大規模競技場で有力国の試合、小規模競技場でそれ以外の国の試合と峻別されています。

このようにサッカーワールドカップと比べてラグビーは不平等となっています。しかし、多くのファンが見たいのは有力国同士の試合なのです。そうするとイングランドやニュージーランドといった人気チームの試合をなるべく多くの人が現地もしくはテレビで見られるようにするのは平等ではないですが、公平ではあるといえるでしょう。

ラグビーはリカバリーが必要な競技ですから、試合間隔も強豪国は中 1 週間がほとんどです。中には中 3 日の試合の試合もありますが、下位国との試合となります。

決まった曜日時間にすれば、選手が楽なだけではなく、観戦者も観戦習慣ができます。テレビの世界でいう視聴習慣を確立できます。日本のように 0 時 45 分もあれば夜 10 時、朝 4 時となると大変ですね。

テレビ中継の話をしてきましたが、試合会場についても平等ではなく公平な考え方が貫かれています。ラグビーワールドカップのいびつなところで放映権収入やスポンサー収入はすべて統括団体であるワールドラグビーが持っていきます。開催国に直接に入ってくる収入は入場料収入のみです。

したがって、どのような会場でどのような入場料を設定するかということは極めて重要なことです。先のイングランド大会では多くの人が関心のあるイングランド戦の入場料は高額に設定され、いい時間帯に開催されています。

有力国同士の試合は大きなスタジアムで開催されます。入場料についてもカードによって異なります。すなわち、人気チームの出場する試合や大規模スタジアムで行う試合は同じ予選プールの試合でも入場料が高く設定されています。サッカーではこのようなことはありません。グループリーグの場合、開幕戦のみは他の試合と異なって高額ですが、それ以外は開催国が出場しようが、ブラジルやドイツが出場しようがすべて同じ価格です。

ラグビーワールドカップのイングランド大会で入場料が一番低くされた試合の 1 つが日本対アメリカ戦でした。このアメリカ戦の一番高い席は 60 ポンド、今のレートで 9000 円、一番安い席は 15 ポンド、2000 円です。日本のトップリーグの場合、会場が同じであれば価格はどの試合も同じで、秩父宮の場合、一番高い席でも 4500 円、一番安い席は 2000 円ですから、為替レートによってはトップリーグの試合よりもワールドカップの方が安い席があるということになります。なお、ジャパンの試合だと一番高い席が 9000 円くらい、一番安い席が 3000 円です。

４．2019 年日本大会の開催日程試案

さてここから 2019 年に日本で行われる大会の日程をシミュレーションしていきます。

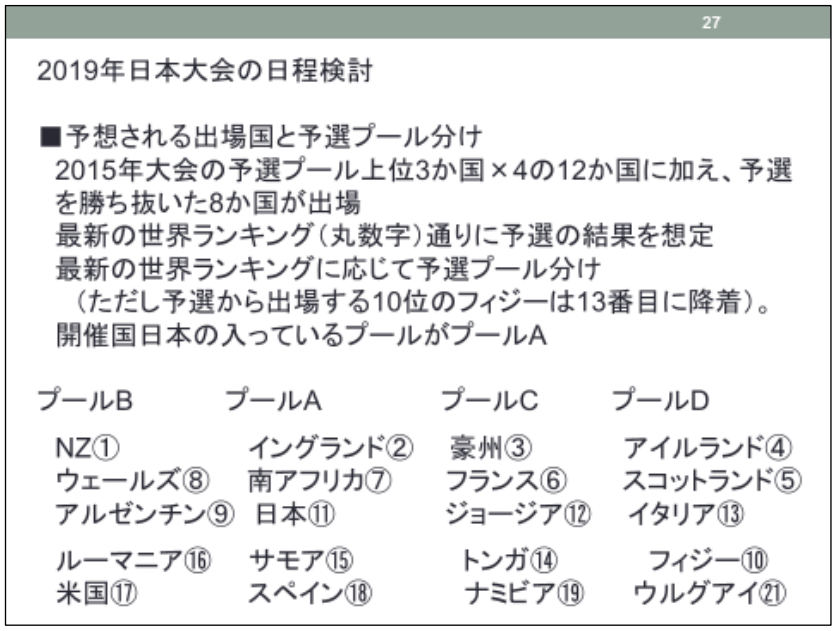
最初に出場国を決めていきましょう。本大会に出場するのは 20 チームですが、そのうちの 12 チームは 2015 年大会の予選プール 3 位以内のチームで、予選免除となります。残り 8 か国が予選を勝ち抜いて出場します。

予選については最新の世界ランキング通りの結果になると想定して予選突破 8 チームを予想してみました。フィジー、トンガ、サモア、ルーマニア、アメリカ、スペイン、ナミビア、ウルグアイという 8 チームが予選突破組ですが、驚くべきことに予選突破国を含む出場 20 か国と世界ランキングがほぼ一致しております。世界ランキング 20 位以内で出場できないのは 20 位のロシアだけです。

例えば、フィジーはランキング 10 位ですが、前回大会でオーストラリア、イングランド、ウェールズと同組で 4 位だったため予選からの出場となります。したがってオセアニア地区はトンガ、サモア、フィジーの超「死の予選」ですね。しかし、この 3 か国の中で 2 位だと他の地区の 2 位と決定戦、3 位だと敗者復活戦に回るようになり、この「死の予選」から「出場すべきチーム」が出場できるような仕組みになっています。

アジア地区はこれまでは日本が出場していましたが今回は日本は予選シードされています。アジアでやるにも関わらず、アジア代表はプレーオフを戦わないといけません。香港がアジアの代表になると思いますがプレーオフはきついです。

サッカーのワールドカップの出場国には世界 40 位台とか 50 位台の国があります。このように地区予選を行い、大陸間プレーオフを行ってほぼ世界ランキング通りの国が出場する、というのは驚きです。



出場国を世界ランキングをもとに A から D の 4 つのプールに分けました。日本が所属するプールを A としました。プール A の対戦相手はイングランド、南アフリカ、サモア、スペインとなりました。

◆井上試案の発表

組み合わせの試案はこの下の通りです。この組み合わせがどのような考え方、思想で作られたかをご説明いたします。

予選プール

2019	Pool A				Pool B				Pool C				Pool D			
Date	対戦カード		会場	時刻	対戦カード		会場	時刻	対戦カード		会場	時刻	対戦カード		会場	時刻
30-Sep Fri	JPN	SAM	東京	19												
31-Sep Sat					WAL	ROU	横浜	17	FRA	GEO	豊田	14	SOO	ITA	大分	20
31-Sep Sun	ENG	RSA	横浜	20	NZL	ARG	大分	14					IRE	FIJ	札幌	17
33-Sep Mon									AUS	TON	静岡	19				
34-Sep Tue	SAM	ESP	金沢	19												
35-Sep Wed									GEO	NAM	神戸	19				
36-Sep Thu																
37-Sep Fri					ROU	USA	福岡	19								
38-Sep Sat	RSA	JPN	豊田	14	NZL	WAL	東京	20					SOO	FIJ	横浜	17
39-Sep Sun	ENG	SAM	大分	20					FRA	TON	熊本	14	IRE	URU	静岡	17
30-Sep Mon									AUS	NAM	札幌	19				
1-Oct Tue					ARG	ROU	神戸	19								
2-Oct Wed	JPN	ESP	札幌	20									ITA	FIJ	東大阪	17
3-Oct Thu																
4-Oct Fri									GEO	TON	東大阪	19				
5-Oct Sat	RSA	SAM	東大阪	14	WAL	USA	熊本	17					SOO	URU	神戸	20
6-Oct Sun	ENG	ESP	静岡	17					AUS	FRA	横浜	14	IRE	ITA	豊田	20
7-Oct Mon					NZL	ROU	札幌	19								
8-Oct Tue									TON	NAM	金沢	19				
9-Oct Wed					ARG	USA	東大阪	19								
10-Oct Thu													FIJ	URU	福岡	19
11-Oct Fri																
12-Oct Sat	RSA	ESP	熊本	17					FRA	NAM	静岡	14	IRE	SOO	東京	20
13-Oct Sun	ENG	JPN	横浜	20	WAL	ARG	福岡	17	AUS	GEO	大分	14				
14-Oct Mon					NZL	USA	豊田	17					ITA	URU	熊本	14

準々決勝

19-Oct Sat	D1	B2	東京	17	D1	A3	横浜	20
20-Oct Sun	B1	D2	横浜	17	A1	D3	東京	20

準決勝

26-Oct Sat	東京19勝	横浜20勝	東京	20
27-Oct Sun	東京20勝	横浜19勝	横浜	20

2位決定戦・決勝

1-Nov Fri	東京26負	横浜27負	東京	20
3-Nov Sat	東京26勝	横浜27勝	横浜	20

38

■開催会場について

会場名	競技場名	収容人員
札幌	札幌ドーム	41,410
釜石	鵜住居復興スタジアム（仮称）	16,187
熊谷	熊谷ラグビー場	24,000
東京	東京スタジアム	49,970
横浜	横浜国際総合競技場	72,327
静岡	小笠山総合運動公園エコパスタジアム	50,889
豊田	豊田スタジアム	45,000
東大阪	花園ラグビー場	30,000
神戸	神戸市御崎公園球技場	30,312
福岡	東平尾公園博多の森球技場	22,563
熊本	熊本県民総合運動公園陸上競技場	32,000
大分	大分スポーツ公園総合競技場	40,000

原則として各予選プール10試合は異なる会場で行う
各チームは予選プール4試合を異なる会場で行う

4-1. 開催日程について

開催日程について私が考慮したことがいくつかあります。

まず第 1 点としてより多くのファンが現地並びにテレビで観戦できるように考慮する。

そして第 2 点として開催地の交通アクセス、宿泊設備の整備を考慮する。

J リーグの試合で皆さんアウェーで「ここは二度と行かない」というスタジアムはたくさんあるでしょう。浦和美園から埼玉スタジアムまでもう歩きたくないとか。試合が終わったらすぐに電車に乗って戻ってこなくてはならないとか、そういう心配をしなくてはなりません。エコパも若干そういうところがありますね。日本人にとっては生まれて初めて生のラグビーの試合を見る人が少なくないと思います。そういう人たちにとってはラグビーの試合そのものよりもラグビー場の雰囲気や、ラグビー場への往復が深く印象に残ると思います。いわゆる経験価値マーケティングですね。そういう人に快適なアクセスと宿泊の記憶を持ってほしいと思います。

また、開催地の交通アクセスや宿泊設備については日本人だけではなく、これはたくさん訪日するであろう国外のファンも意識しなくてはなりません。

第 3 点として試合のない期間に観光できるように考慮する。

そしてこの国外から訪日するファンについては国内のファンとは大きく異なる行動様式となります。例えば日本人の場合は週末に試合があって楽しんでも、翌日から 1 週間仕事や学校という日常があります。ところが外国から来たファンは毎日が日曜日ですが、週 1 回しかラグビーの試合はありません。日本人が会社や学校に行っている間彼らは何をするのでしょうか。観光です。すなわち試合と試合のインターバルに選手はリカバリーを行い、調整する。日本人ファンは会社や学校に行く。そして外国人ファンは観光をするので、試合会場も観光資源を考慮すべきであると考えます。

◆6 週間の長いイベントなので関心を継続させる。

ラグビーワールドカップは 6 週間という長期間にわたるイベントですので日本人は飽きてしまうでしょう。また現実問題としてジャパンは 6 週間目までは残れないでしょう。ジャパンが敗れた瞬間のフ

ァンが関心を失う、今までのスポーツイベントではよく見られた現象でした。日本がいなくなってしまっても日本人に関心を継続してもらうという仕組みが必要です。イングランド大会は開催国が初めて予選敗退したにも関わらず、最後まで盛り上がりました。そのための仕掛けがあったと考えられます。

◆大会を最後まで盛り上げるであろう上位シード国を優遇する。

それは人気と実力を兼ね備えたチームが終盤まで試合をするということです。よくサッカーのワールドカップでカナリア軍団のブラジルが敗退すると大会が終わったような気がする、と言いますがまさにその世界です。開催国の日本に最後まで残ってほしいのですが、やはりニュージーランドやイングランドをはじめとする有力国が最後まで戦い続けることが大会を盛り上げる大きな要素です。したがって上位シード国が有利になるような日程を考えるべきと思います。

続いて開催日程についてお話ししましょう。

◆土日、日本独自の祝日を活用する。

平日よりも土日の方がライブにせよテレビにせよ盛り上がります。また祝日の存在も有効に活用したいです。日本は先進国で一番祝日が多い国です。

予選プールですが、土日は予選プールは 1 日 3 試合行い、14 時、17 時、20 時にキックオフします。

秋分の日、体育の日は他国は祝日ではありませんが、昼間にも試合を行います。

平日は原則として 19 時にキックオフします。開幕戦は金曜日の 19 時キックオフで開催国が出場します。

予選プールは 3 週目までですが、10 月 14 日が体育の日なので 4 回の土日と 2 日の祝日をうまく活用します。

決勝トーナメントは金曜日に行われる 3 位決定戦を除いて土日に行います。決勝トーナメントは 17 時、もしくは 20 時にキックオフします。

なお、この大会の決勝は土曜日に行われます。またこの 2019 年大会の決勝は 11 月 2 日ですが、その前日の 1 日の金曜日はフランスとイタリアは祝日です。

◆試合間隔は上位シード優先

続いて試合間隔です。

第 1、第 2 シードは中 1 週間で試合を行います。この場合の中 1 週間は日曜日に試合を行い、次の土曜日に試合を行う、実際には中 5 日も中 1 週間と考えてください。第 3 シード以下については 1 試合は中 3 日で試合を行うようにしました。

実はこれまでの大会ではこのような原則があったわけではありません。何となく有力国は中 1 週間が担保されているというのが私の感覚でしたが、有力国で試合間隔の短い試合があっても下位国との対戦だったので話題にならなかっただけかもしれません。今回はシードに応じて明確に試合間隔を決めていきたいと思います。

そして予選プール期間中は全く試合のない日を少しでも減らし、毎日ラグビーワールドカップのニュースが国内だけではなく世界中を駆け巡るようにしていきたいと思います。

◆試合間隔と移動距離、対戦相手

続いて開催地間の移動を考えましょう。中 3 日の試合を行う場合、対戦相手や移動距離を考慮しました。それはこの中 3 日というのがラグビーの世界においては極めて例外的だからです。

中 3 日の試合はサッカーではあり得ますが、ラグビーでは異常です。欧州のラグビーもサッカーのチャンピオンズリーグに相当する大会がありますが、週半ばではなく週末に開催しています。そしてその週~~州~~には国内リーグ戦の試合はなく、国内の試合をあわせても必ず中 1 週間空けています。

中 3 日で試合を行うというのは現在の日本の大人のラグビーではありません。花園の高校ラグビーは中 1 日でやりますが、その上のステージ、大学や社会人の試合間隔は中 1 週間空けています。まあ、菅平は別ですけどね。あそこでは午前、午後でそれぞれ 1 試合ずつ試合をやります。

世界中でラグビーがトップレベルでは中 1 週間で行っているのに、なぜトップオブトップのワールドカップに中 3 日の日程があるのか不思議です。

それではシードごとにどのような試合間隔で行っていくかを紹介しましょう。第 1 シードと第 2 シードは試合間隔が中 1 週間とします。つまり第 1 シードと第 2 シードのチームは毎週末に試合を行い、4 回の週末全てに登場します。

一方、日本が位置する第 3 シード以下のチームは週末以外の試合が入ることにより中 3 日という厳しい日程も存在します。通常週末には各予選プールで 2 試合行う、すなわち 4 チームが登場します。第 5 シードのチームは最初の週末には登場せず、第 4 シードのチームは最後の週末には登場しないようにします。そして第 3 シード以下同士の試合に関しては週末には開催せず、週の半ばに試合を開催します。第 1 シード、第 2 シードのチームは週末にしか試合をしませんから、第 3 シード以下のチームは中 3 日という日程が生じてしまいます。

私は東京六大学野球の関係者の方からこの日程の件で興味深いことを聞いたことがあります。東京六大学は総当たりのリーグ戦で毎週末に試合があります。6 チームの総当たりのリーグ戦ですから 15 カードになり、最終週は 1 カードのみとなります。この最終週は固定的に早慶戦になっています。早慶戦の後に閉会式があって表彰式もあります。早慶以外のチームが優勝した場合、早慶の学生で埋め尽くされた神宮球場で天皇杯を受け取るわけです。早慶以外のチームは最終週で自分の学校の学生の前で優勝を決めることができないわけです。もちろん早慶戦はシングルで集客力もありますからマーケティング的にも最終週は早慶戦のシングルゲームだろうとは思いますが、競技面から早慶が優遇されていると早慶以外の卒業生に方から聞いたことがあります。つまり、早慶は第 8 週に当たる最終週に登場しますから、7 つの週末あるいは 8 つの週末で 5 カードを戦います。早慶以外は恵まれていても 7 つの週末で 5 カード、運が悪いと 6 つの週末で 5 カードを戦うという過密日程になり、コンディションの面で早慶は優遇されている、という話を聞いたときに大変申し訳なく感じました。

そしてそれと同じ論理で第 1 シードから第 3 シードまでのチームは 4 回の週末、すなわち 24 日間を使って 4 カードを行い、第 3 シードはその中で中 3 日の日程がある、というわけです。そして第 4 シードと第 5 シードのチームは 3 回の週末あるいはプラスアルファ、すなわち約 20 日間に 4 カードの試合を行うわけで、上位シードの方が日程的に有利になるようにしました。

それでは時間帯、曜日まで考慮した日程を紹介しましょう。

さきほどお話ししたとおり第 1 シードと第 2 シードは 4 試合をすべて週末に開催します。ヨーロッパと南アフリカは日本と時差が 7 時間あるいは 8 時間あるので土日の午後の遅い時間試合を行い、現地の朝から昼にかけてテレビ観戦できます。オーストラリアとニュージーランドは日本との時差が 1 から 4 時間なので土日の午後から夜に試合を行います。そして日本の祝日である月曜日の夜に開催します。日本の祝日に試合を開催した場合、日本ではスタジアムで観戦しやすくなりますし、オーストラリアとニュージーランドでは平日ですが、夜の試合となりますから仕事の後にテレビ観戦をすることになります。

続いて有力国同士の対戦がどの予選プールにも 1 カードずつあります。この首位決定戦と言えるプラチナカードは前回大会でも行われていましたが、4 つの週末に分散させて盛り上げていくこととします。

6 週間という長期にわたって開催されるイベントに継続的に関心を持ってもらうため毎週末にビックゲームを入れて盛り上げます。日本で開催するラグビーのワールドカップがサッカーのワールドカップと 1 点異なる点は日本の位置づけです。サッカーのワールドカップの場合、日本は参加 32 カ国で最下位に近い実力です。ところが、ラグビーのワールドカップの場合、日本は中位あるいは中のやや下に位置しています。日本よりも格下同士の試合には日本人が関心を持たないということは容易に想像がつきます。日本より格上同士のカードは実は予選プールでは 4 試合しかありません。そういうカードを意図的に 4 つの週末に分散させ盛り上がりを継続していくという狙いです。

そして、このプラチナカードの 4 回の週末の分散開催は海外からのファンの獲得にもつなげます。残念ながら有力国にとっては予選プールの試合は練習試合みたいなものです。予選プールの試合でコンディションをあげながら決勝トーナメントに備える、というのが有力国のチームマネジメントです。ファンもそのあたりがわかっていて決勝トーナメントにならないと多くの観客は来日しないです。そこで第 1 週からビックゲームが開催されるよとなれば見に来るかもしれない。有力国のファンは決勝トーナメントに入ってからの 2 週間のツアーを組む方が多いのですが、そこを 6 週間にしてもらい観光立国日本に貢献したいと考えています。

そしてスポーツイベントが労働生産性を下げないようにする、というのが経済学部出身の私の主張です。オリンピックやワールドカップなどのたびに、電車が遅れたとか、家族が病気になったということが増えます。スポーツイベントの経済効果についてよく論じられますが、一方で電車が遅れたり、子どもが病気になったりしたために労働時間が少なくなり、労働生産性が下がることがあります。経済効果がある一方で、労働生産性が下がっているということは不都合な真実です。そのような電車の遅延や家族が病気にならないと試合が見られない、というのではなく一般的には仕事のない土日に試合を見て、いい試合を見たから明日から頑張ろうとなれば、労働生産性が下がるのではなく、逆に上がるのではないかと期待しています。

4-2. 開催会場について

続いて開催会場についてお話しします。開催会場ですがお手持ちの表のとおりです。名称など一部異なるかもしれません。

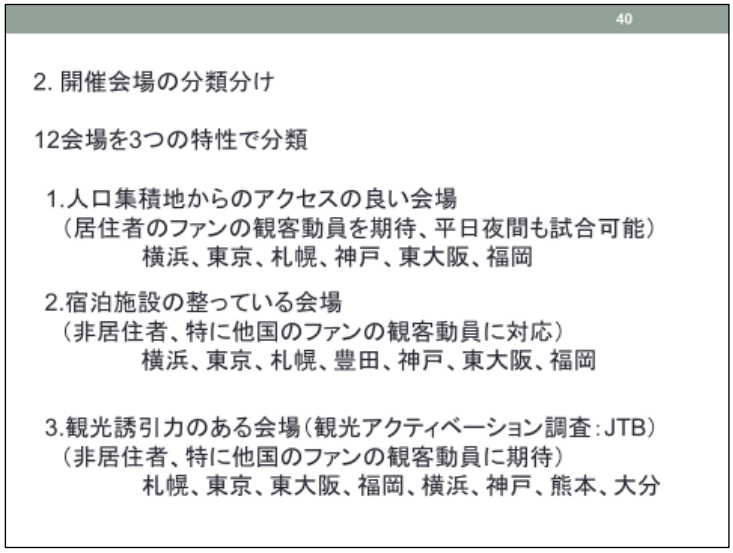
38

■開催会場について

会場名	競技場名	収容人員
札幌	札幌ドーム	41,410
釜石	鵜住居復興スタジアム（仮称）	16,187
熊谷	熊谷ラグビー場	24,000
東京	東京スタジアム	49,970
横浜	横浜国際総合競技場	72,327
静岡	小笠山総合運動公園エコパスタジアム	50,889
豊田	豊田スタジアム	45,000
東大阪	花園ラグビー場	30,000
神戸	神戸市御崎公園球技場	30,312
福岡	東平尾公園博多の森球技場	22,563
熊本	熊本県民総合運動公園陸上競技場	32,000
大分	大分スポーツ公園総合競技場	40,000

原則として各予選プール10試合は異なる会場で行う
各チームは予選プール4試合を異なる会場で行う

予選プールは 5 チームの総当たりですから 10 試合ありますが、原則としてこの 10 試合をすべて異なる会場で行います。ですから各チームは原則として 4 試合をすべて異なる会場で試合を行います。これはサッカーのワールドカップでも 98 年フランス大会から採用された方法です。



開催会場をまず収容人員に応じて 4 つのクラスに分けています。

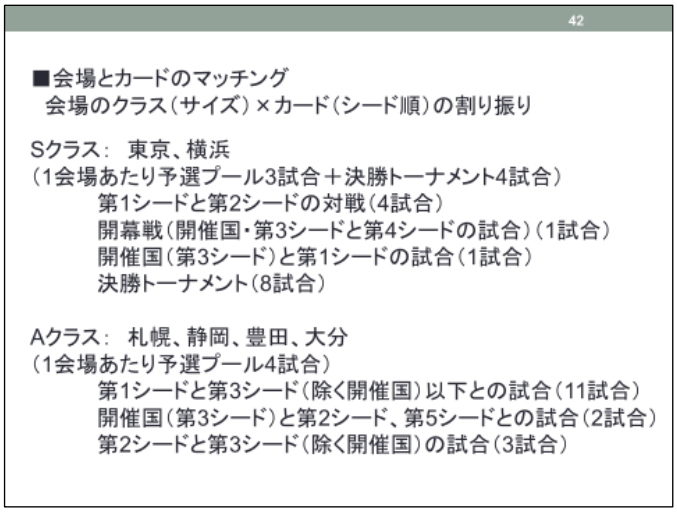
S クラスが東京、横浜、A クラスが札幌、静岡、豊田、大分、B クラスが熊谷、神戸、花園、熊本、C クラスが釜石、福岡となります。静岡からいらっしゃっている方には申し訳ないですが、東京、横浜が S クラスで静岡は A クラスとしています。

クラス分けとは別に分類分けもしています。これは人口集積地からのアクセス、宿泊施設の整備、観光誘引力、この 3 つの分類です。

まず、人口集積地からのアクセスに優れているか、ということですが、これは居住者の観戦に期待できるかどうか、ということで 100 万都市ないしその近くにある会場、横浜、東京、札幌、神戸、東大阪、福岡が当てはまり、短距離移動で観戦できる環境にあり、平日夜間でも試合が可能です。

それから宿泊施設が充実しているか、整っているかどうかも重要です。ラグビーの観客は富裕層が多いと言われています。観光関連の方に伺ったところ、1 日当たり 7 万円くらいを使うそうです。日本でもラグビーの国際大会があると有力国から多数のファンが来日し、帝国ホテルやパレスホテルのスウィートが埋まるということです。

そしてその富裕層の顧客をターゲットにして観光誘引をしていく必要もあるでしょう。ラグビーの試合は 1 週間に 2 時間だけです。試合間隔の短いサッカーのワールドカップや、多数の競技を大会期間中のべつまくなく実施しているオリンピックとの大きな違いはここです。試合と試合の間の時間に観光していただくということです。現在、観光業界が恐れているのは、ラグビーの試合と試合の合間の 1 週間にハワイや韓国などに再観光してしまうのではないかということです。これがオリンピックだったら、大会が終わってからハワイに寄ろうか、韓国に行こうか、となるのですが、ラグビーワールドカップの場合は大会期間中にそのようなことが起こる可能性があります。したがって、観光資源のある会場で試合をし、ある程度移動を伴えば、その合間に開催会場の周辺の観光スポットを訪れてくれるのではないかと期待しています。



4-3. 会場×日程×カードのマッチング

これまで述べてきたことを前提に開催会場、日程、カードをマッチングしました。それがお手元の表です。

◆S クラスの会場

まず S クラスの会場、東京と横浜です。

この会場では予選プールでは第 1 シードと第 2 シードの対戦、いわゆるプラチナカード 4 試合を行うほか、に第 3 シードである日本が出場する開幕戦を行います。また、開催国の日本と第 1 シードの試合を行います。予選プールは 6 試合を行い、1 会場あたり 3 試合を行います。

そして決勝トーナメントは 3 位決定戦を含めて 8 試合ありますが、すべてをこの S クラスの東京または横浜で行います予選プールと合わせると 1 会場あたり 7 試合行うことになります。

◆A クラスの会場

続いてサッカーのワールドカップクラスの 4 万人規模の A クラスの札幌、静岡、豊田、大分です。ここでは第 1 シードと第 3 シード以下の試合を行います。つまり第 1 シードは A クラス以上の会場でしか試合をしません。なお、第 3 シードの日本の第 1 シード戦は先ほどお話ししたとおり S クラスの会場で行いますので、11 試合になります。

そして第 2 シードと第 3 シードの試合も行います。決勝トーナメント進出をかける試合になる可能性が高い好カード 4 試合です。

また、開催国の日本は第 5 シード戦の 1 試合を行います。後で述べますが、開催国の日本は開幕戦に出場し、開幕戦は S クラスの東京で行われます。この相手を第 4 シードとしていますので、日本は予選プール 4 試合のうち 2 試合を S クラス、残り 2 試合を A クラスで行います。これは第 1 シード国を上回る良い条件です。

このようにして A クラスの 4 会場では合計 16 試合を行い、1 会場あたり 4 試合となります。

◆B クラスの会場

3 番目に 3 万人規模の B クラスの 4 会場、熊谷、神戸、東大阪、熊本になります。ここでは第 2 シードと第 4 シード以下との 8 試合、第 3 シードと第 4 シード以下との試合を行います。日本は第 3 シードですが、第 4 シード、第 5 シードとの試合は S ランク、A ランクの会場で行いますから第 3 シードの試合は 6 試合になります。

あわせて 14 試合ですから、1 会場あたり 3.5 試合となります。

◆C クラスの会場

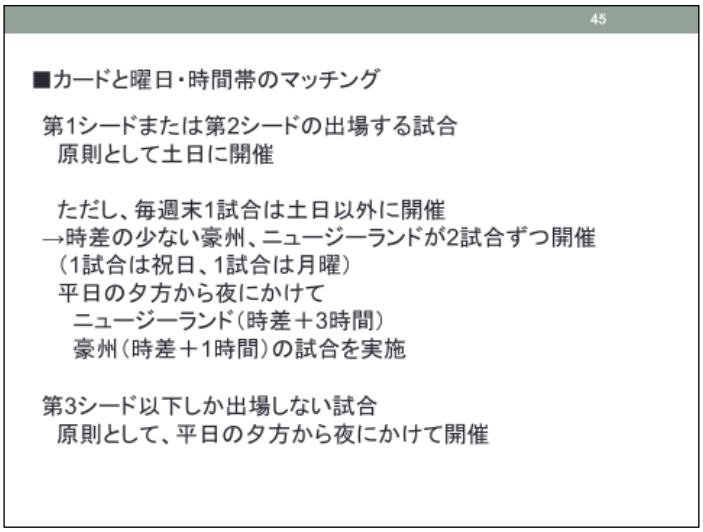
最後に C クラスの 2 会場、釜石と福岡です。ここでは第 4 シードと第 5 シードの試合を 4 試合行います。1 会場あたり 2 試合となります。

◆会場と曜日・時間帯のマッチング

カードをどのサイズの会場で行うかをお話してきましたが、次に先ほどお話しした 3 つの特性を考慮してそれぞれの会場がどのような曜日・時間帯に試合を行うかを説明しましょう。

人口集積地からのアクセスの良い会場、すなわち、横浜、東京、札幌、神戸、東大阪、福岡は土日だけではなく、平日夜も開催可能になります。

一方、アクセスの良くない会場である静



岡、豊田、大分、熊谷、熊本、釜石は土日を中心に開催となります。

そして宿泊施設の整っている会場である横浜、東京、札幌、豊田、神戸、東大阪、福岡は試合後に宿泊することが難しくありませんから、夜の試合も可能となります。

一方、宿泊施設の整っていない会場である静岡、大分、熊谷、熊本、釜石については夜試合を行うとその後に宿泊することは難しくなります。したがって、夜の試合を避け、非居住者の宿泊は広域で対応することになります。

このようにどのカードをどのサイズの会場で行うか、どの会場ではどのような曜日・時間帯の試合が可能か、ということについて説明してきました。続けてどのカードがどのような時間帯に行うか、ということについてお話しします。

まず有力国の第1シードまたは第2シードの出場する試合は原則として土日に開催します。ただし、すべての第 1 シード、第 2 シードの出場する試合を 1 日 3 試合としている土日に行うことはできません。したがって毎週末の 1 試合は土日以外に行うことになります。具体的には日本と時差の少ないオーストラリア（時差 1 時間）、ニュージーランド（時差 3 時間）の試合を土日以外に当てます。土日以外というのは日本の祝日そして月曜日で、オーストラリアもニュージーランドも 2 試合ずつ土日以外に試合を行います。

そして第 3 シード以下しか出場しない試合は原則として平日の夕方から夜にかけて行います。

これを具体的に有力国の国別にキックオフ時間を設定してみましょう。

次にそれぞれのカードをどの曜日・時間帯に行うかをマッチングしていきましょう。

日本との時差が－8 時間となる英国のイングランド・スコットランド・ウェールズ・アイルランドについては土日の 17 時以降のキックオフとします。これは現地時間で土日の朝 9 時以降となります。続いて時差が－7 時間となるフランス・南アフリカですが、土日の 14 時以降キックオフにすると、現地時間で土日の朝 7 時以降のテレビ観戦となります。

今度は日本と時差の少ないオセアニアの 2 か国です。

まず日本との時差が＋3 時間のニュージーランドですが、19 時にキックオフした場合、現地時間で 22 時キックオフとなります。また祝日には 17 時キックオフの試合も想定していますので、これは現地では平日の 20 時キックオフとなります。

そして日本との時差＋1 時間のオーストラリアですが、14 時にキックオフした場合は現地時間で 15 時、19 時にキックオフした場合は現地時間で 20 時となります。

このように考えると、オセアニアの 2 カ国については日本の平日の夜にキックオフしても現地ではテレビのゴールデンアワーに近い時間帯で試合を見ることができます。またニュージーランドの場合、日本の祝日を使えば、夕方の試合が現地では夜のゴールデンアワーに重なります。先ほど述べた交通アクセスや宿泊場所の関係で夜の試合を避けたい、という会場を活用できます。

このような考え方を組み合わせて試行錯誤しながら作った日程表が次のようになります。

28

2019年大会日程の試案

予選プール

2019	Pool A				Pool B				Pool C				Pool D			
Date	対戦カード		会場	時刻	対戦カード		会場	時刻	対戦カード		会場	時刻	対戦カード		会場	時刻
20-Sep Fri	JPN	SAM	東京	19												
21-Sep Sat					WAL	ROU	横浜	17	FRA	GEO	豊田	14	SOO	ITA	大分	20
22-Sep Sun	ENG	RSA	横浜	20	NZL	ARG	大分	14					IRE	FIJ	札幌	17
23-Sep Mon									AUS	TON	静岡	19				
24-Sep Tue	SAM	ESP	釜石	19												
25-Sep Wed									GEO	NAM	神戸	19				
26-Sep Thu																
27-Sep Fri					ROU	USA	福岡	19								
28-Sep Sat	RSA	JPN	豊田	14	NZL	WAL	東京	20					SOO	FIJ	横浜	17
29-Sep Sun	ENG	SAM	大分	20					FRA	TON	熊谷	14	IRE	URU	静岡	17
30-Sep Mon									AUS	NAM	札幌	19				
1-Oct Tue					ARG	ROU	神戸	19								
2-Oct Wed	JPN	ESP	札幌	20									ITA	FIJ	東大阪	17
3-Oct Thu																
4-Oct Fri									GEO	TON	東大阪	19				
5-Oct Sat	RSA	SAM	東大阪	14	WAL	USA	熊谷	17					SOO	URU	神戸	20
6-Oct Sun	ENG	ESP	静岡	17					AUS	FRA	横浜	14	IRE	ITA	豊田	20
7-Oct Mon					NZL	ROU	札幌	19								
8-Oct Tue									TON	NAM	釜石	19				
9-Oct Wed					ARG	USA	東大阪	19								
10-Oct Thu													FIJ	URU	福岡	19
11-Oct Fri																
12-Oct Sat	RSA	ESP	熊谷	17					FRA	NAM	熊谷	14	IRE	SOO	東京	20
13-Oct Sun	ENG	JPN	横浜	20	WAL	ARG	静岡	17	AUS	GEO	大分	14				
14-Oct Mon					NZL	USA	豊田	17					ITA	URU	熊本	14

準々決勝

19-Oct Sat	D1	D2	東京	17	C1	A3	横浜	20
20-Oct Sun	B1	D2	横浜	17	A1	C2	東京	20

準決勝

26-Oct Sat	東京19勝	横浜20勝	東京	20
27-Oct Sun	東京20勝	横浜19勝	横浜	20

3位決定戦・決勝

1-Nov Fri	東京26負	横浜27負	東京	20
3-Nov Sat	東京26勝	横浜27勝	横浜	20

5．国別の過去 2 大会との比較

ただ、これを見てもよくわからないので、当事者になったつもりでそれぞれの国ごとにどのような対戦相手とどこでいつ戦うのか、という 3W について各国ごとに過去 2 回と比較してみましょう。いくらいいプラン、論理的に正しい、スポーツ的観点から素晴らしいという組み合わせよりも、当該国のファンの理解を得ることがマーケティング的には重要です。

有力国に関してはまずまずの結果となっています。

48

■国別の過去2大会との比較

イングランド

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月22日	日	12:00	南アフリカ	横浜	72,327
9月29日	日	12:00	サモア	大分	40,000
10月6日	日	9:00	スペイン	静岡	50,889
10月13日	日	12:00	日本	横浜	72,327

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月18日	金	20:00	フィジー	トウイックナム	81,605
9月26日	土	20:00	ウェールズ	トウイックナム	81,605
10月3日	土	20:00	豪州	トウイックナム	81,605
10月10日	土	20:00	ウルグアイ	マンチェスター	47,800

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	日	9:30	アルゼンチン	ダニーデン	30,000
9月18日	日	7:00	ジョージア	ダニーデン	30,000
9月24日	土	7:00	ルーマニア	ダニーデン	30,000
10月1日	土	9:30	スコットランド	エデンパーク	60,000

イングランドは前回が良すぎましたが今回も朝 9 時かお昼の 12 時。トゥイッケナムほどではないですがよいスタジアムを用意し静岡にも行きます。

イングランド対スペインというサッカーどころ静岡ならではのカードを割り当てました。イングランドは開催国の日本の予選プールに入ったため、同じ会場（横浜）で 2 試合を行う唯一の例外的なチームになりましたが、第 2 戦で大分、第 3 戦で静岡と観光資源に恵まれた地域での試合を行います。イングランドのファンが九州周遊観光し、京都や奈良を経由して静岡入りするということを期待しています。

イングランドは時差のあった前々回のニュージーランド大会でも土日の朝に試合をしています。いかにこの大会がイングランドを重視しているかがわかります。

49

■国別の過去2大会との比較

スコットランド

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月21日	土	12:00	イタリア	大分	40,000
9月26日	土	9:00	フィジー	熊谷	24,000
10月5日	土	12:00	ウルグアイ	神戸	30,312
10月12日	土	12:00	アイルランド	東京	49,970

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	水	14:30	日本	グロスター	16,500
9月27日	日	14:30	米国	リーズ	37,914
10月3日	土	16:45	南アフリカ	ニューカッスル	52,409
10月10日	土	14:30	サモア	ニューカッスル	52,409

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	土	2:00	ルーマニア	インバーカーギル	18,000
9月14日	水	8:30	ジョージア	インバーカーギル	18,000
9月25日	日	9:30	アルゼンチン	ウェリントン	40,000
10月1日	土	9:30	イングランド	エデンパーク	60,000

スコットランドは土曜の朝と昼にやります。プラチナカードのスコットランド対アイルランドは味スタでやります。九州、神戸での試合がありますからここも観光に期待できます。

スコットランドは弱い時期もあったのですが、若手が伸びているので 3 年後は期待できます。

50

■国別の過去2大会との比較

ウェールズ

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月21日	土	9:00	ルーマニア	熊谷	24,000
9月28日	土	12:00	ニュージーランド	東京	49,970
10月5日	土	9:00	米国	熊本	32,000
10月13日	日	12:00	アルゼンチン	静岡	50,889

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	日	14:30	ウルグアイ	カーディフ	74,154
9月26日	土	20:00	イングランド	トゥイッケナム	81,605
10月1日	木	16:45	フィジー	カーディフ	74,154
10月10日	土	16:45	豪州	トゥイッケナム	81,605

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月11日	日	9:30	南アフリカ	ウェリントン	40,000
9月18日	日	4:30	サモア	ハミルトン	26,000
9月26日	月	3:30	ナミビア	ニュープリマス	26,000
10月2日	日	7:00	フィジー	ハミルトン	26,000

ウェールズも土日の朝と昼の試合です。また首都圏から熊本に移動し、静岡に来ますので、動線に京都が入ります。

51

■国別の過去2大会との比較

アイルランド

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月22日	日	9:00	フィジー	札幌	41,410
9月29日	日	9:00	ウルグアイ	静岡	50,889
10月6日	日	12:00	イタリア	豊田	45,000
10月12日	土	12:00	スコットランド	東京	49,970

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	14:30	カナダ	カーディフ	74,154
9月27日	日	16:45	ルーマニア	ウェンブリー	90,000
10月4日	日	16:45	イタリア	オリンピック	56,000
10月11日	日	16:45	フランス	カーディフ	74,154

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月11日	日	7:00	米国	ニューブリマス	26,000
9月17日	土	9:30	豪州	エデンパーク	60,000
9月25日	日	7:00	ロシア	ロトルア	26,000
10月2日	日	9:30	イタリア	ダニーデン	30,000

アイルランドはビールどころの札幌で開幕を迎え、中部地方で 2 試合、最後は東京です。京都を動線に入れることができなかったのですが、静岡での第 2 戦と豊田での第 3 戦の間にどのようにファンが動くのでしょうか。

52

■国別の過去2大会との比較

フランス

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月21日	土	7:00	ジョージア	豊田	45,000
9月29日	日	7:00	トンガ	熊本	32,000
10月6日	日	7:00	豪州	横浜	72,327
10月12日	土	7:00	ナミビア	熊谷	24,000

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	21:00	イタリア	トウイッケナム	81,605
9月23日	水	21:00	ルーマニア	オリンピック	56,000
10月1日	木	21:00	カナダ	ミルトンキーンズ	30,717
10月11日	日	17:45	アイルランド	カーディフ	74,154

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	土	8:00	日本	ノースハーバー	30,000
9月18日	日	8:30	カナダ	ネイピア	22,000
9月24日	土	8:30	ニュージーランド	エデンパーク	60,000
10月1日	土	8:00	トンガ	ウェリントン	36,000

フランスは朝 7 時です。ニュージーランド大会より少し早起きしてもらいましょう。やはり英国 4 協会が優先で、日本で 14 時からの試合にフランスが登場し、夕方、夜の試合に英国勢やオセアニア勢が出場します。

53

■国別の過去2大会との比較

南アフリカ

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月22日	日	13:00	ジョージア	横浜	72,327
9月28日	土	7:00	日本	豊田	45,000
10月5日	土	7:00	サモア	東大阪	30,000
10月12日	土	10:00	スペイン	熊本	32,000

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	17:45	日本	ブライトン	30,750
9月26日	土	17:45	サモア	バーミンガム	42,785
10月3日	土	17:45	スコットランド	ニューカッスル	52,409
10月7日	水	17:45	米国	オリンピック	56,000

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月11日	日	8:30	ウェールズ	ウェリントン	40,000
9月17日	土	8:00	フィジー	ウェリントン	40,000
9月22日	木	8:00	ナミビア	ノースハーバー	30,000
9月30日	金	8:30	サモア	ノースハーバー	30,000

南アフリカは土日の朝、昼の試合となります。ニュージーランド大会では平日の朝に 2 試合行い、家族が病気にならなくてはいけない時間帯にやっていました。

54

■国別の過去2大会との比較

ニュージーランド

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月22日	日	17:00	アルゼンチン	大分	40,000
9月29日	日	17:00	ウェールズ	東京	49,970
10月7日	月	22:00	ルーマニア	札幌	41,410
10月14日	月	20:00	米国	豊田	45,000

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	月	3:45	アルゼンチン	ウェンブリー	90,000
9月24日	金	7:00	ナミビア	オリンピック	56,000
10月2日	土	7:00	ジョージア	カーディフ	74,154
10月9日	土	7:00	トンガ	ニューカッスル	52,409

2011

月日	曜日	時間	対戦相手	会場	収容人数
9月9日	金	20:30	トンガ	エデンパーク	60,000
9月16日	金	20:00	日本	ハミルトン	26,000
9月24日	土	20:30	フランス	エデンパーク	60,000
10月2日	日	15:30	カナダ	ウェリントン	36,000

さて、オセアニア勢です。ニュージーランドは日曜日の夕方に 2 試合、そして月曜日の夜 20 時と 22 時が 1 試合ずつです。なお、10 月 14 日は体育の日で日本では夕方の試合です。豊田での試合となり、夕方の 17 時キックオフ、終わるのが 19 時、名古屋まで戻って宿泊か、頑張れば東京や大阪に戻ることも可能な時間帯としました。

前回大会に比べればかなりいい時間帯の試合となります。

55

■国別の過去2大会との比較

豪州

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	月	20:00	トンガ	静岡	50,339
9月30日	月	20:00	ナミビア	札幌	41,410
10月6日	日	15:00	フランス	横浜	72,327
10月13日	日	15:00	ジョージア	大分	40,000

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	木	1:45	フィジー	カーディフ	74,154
9月27日	日	21:00	ウルグアイ	バーミンガム	42,785
10月3日	日	5:00	イングランド	トウイッケナム	81,605
10月10日	日	1:45	ウェールズ	トウイッケナム	81,605

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月11日	日	15:30	イタリア	ノースハーバー	30,000
9月17日	土	20:30	アイルランド	エデンパーク	60,000
9月23日	金	20:30	米国	ウェリントン	40,000
10月1日	土	15:30	ロシア	ネルソン	18,000

オーストラリアは日曜日の 15 時に 2 試合、月曜日の 20 時に 2 試合となります。9 月 23 日は祝日です。19 時に静岡でキックオフとなります。少々帰りが厳しいかもしませんね。翌日が仕事の日の 19 時にエコパでのエスパルス戦を想像してみてください。ナミビア戦は平日開催ですが、札幌での試合ですので試合後は心配しなくてもいいかと思います。

そして多数のファンが来日すると思われるニュージーランドとオーストラリアの 2 チームは北海道と九州で試合を行い、日本を縦断してもらう計画です。

56

■国別の過去2大会との比較

日本

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	金	19:00	サモア	東京	49,970
9月29日	土	14:00	南アフリカ	豊田	45,000
10月2日	水	20:00	スペイン	札幌	41,410
10月13日	日	20:00	イングランド	横浜	72,327

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	日	0:45	南アフリカ	ブライトン	30,750
9月23日	土	22:30	スコットランド	グロスター	16,500
10月3日	土	22:30	サモア	ミルトンキーンズ	30,717
10月12日	月	4:00	米国	グロスター	16,500

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	土	15:00	フランス	ノースハーバー	30,000
9月16日	金	17:00	ニュージーランド	ハミルトン	26,000
9月21日	水	16:30	トンガ	ファンガレイ	30,000
9月27日	火	14:00	カナダ	ネイピア	22,000

日本は開幕戦は金曜日の夜に東京。土曜の昼間に豊田で南アフリカ戦、少々移動がつらいですが水曜日は札幌でスペイン戦。長距離移動の中 3 日でも勝てる相手です。ここまで 2 勝 1 敗で来て、最後のイングランド戦は日曜日の夜に開催されます。

日本とは時差の少なかった 2011 年大会はフランス戦こそ夜になりましたが後は昼間でした。後日談を申しますと、水曜日の 16 時 30 分に行われたトンガ戦は勝てる試合と期待したのですが、日本ではライブ中継は J スポーツだけでした。私は授業のある時間帯でしたが、日本では台風がやってきて授業が休講になってしまいました。夕方、大学の近くのスポーツバーに駆け込んでライブ中継を運よく見ることができたのですが、途中から台風で交通機関がストップした「帰宅難民」が次々とやってきました。彼らはラグビーを見ようとして来たわけではないのですが、彼らのラグビーに対するあまりもの無理解な発言に驚くとともに、試合結果通りの日本ラグビーの位置づけを痛感させられました。

６．おわりに

今までの大会よりも上位国の利権を守りつつ公平を期してみました。それでも課題があります。中 3 日の試合についてです。

第 3 シード以下のチームは中 3 日で試合をする場合があるのですが、なるべくシードが離れていないあるいは格下のチームと対戦するように工夫しました。しかし、やはり 5 カードについてはシードが 2 つ以上上のチームと戦うことになります。例えば第 5 シードのスペインにとって中 3 日で第 1 シードのイングランド戦はかなり厳しい戦いです。

それから中 3 日の試合を行う会場移動の負担です。日本は中 3 日が豊田から札幌に移動します。それからトンガが東大阪から釜石、どうやって行くのでしょうか。

また競技場の日程ですが 2 日連続で開催する会場がでます。イングランド大会では 2 日連続で試合を行うケースもありましたし、日本の国内試合でしたらダブルヘッダーが常識です。ただ、芝の傷みの激しいスポーツですから検討する余地があると思います。

60

今後の検討課題

1.中3日の試合の課題

1-1.中3日で2つ以上上位のシード国と対戦するケースの排除

例：中3日で試合をするチーム	対戦相手（シード差2以上）
スペイン（第5シード）	イングランド（第1シード）
米国（第5シード）	アルゼンチン（第3シード）
ナミビア（第5シード）	フランス（第2シード）
イタリア（第3シード）	アイルランド（第1シード）
ウルグアイ（第5シード）	イタリア（第3シード）

1-2.中3日の試合の会場移動の負担の抑制

例：日本：豊田→札幌、トンガ：東大阪→釜石

また、観光面から考えたならば、国別のパッケージツアーの企画もしていく必要があるでしょう。そして秋分の日、体育の日という日本の祝日についてはコメントしましたが、開催期間中の各国の祝日にも着目してみました。実は 10 月 14 日の月曜日はアメリカではコロンバスデーという祝日です。そこでアメリカ対ニュージーランドという試合をデトロイトに代わって自動車産業の聖地になった豊田で組んでみました。トランプ大統領にはぜひとも見てもらいたい試合です。

それから経済学を学んだエコノミストの端くれとして労働生産性の維持ということを考えてほしいです。スポーツイベントの際に経済波及効果など言われますが、多くの人が睡眠時間や労働を犠牲にしてスポーツイベントを観戦している。スポーツの観点からはそれでいいかもしれませんが、そういう行動が労働生産性を下げているとい

61

今後の検討課題

2. 競技場の日程
　2日間連続して試合を行う会場：大分、横浜、東京
　中1日で試合を行う会場：札幌、東大阪、熊本

3. 国別の来訪者向けのパッケージツアーの企画

　試合観戦以外の観光とのパッケージ企画

4. 合宿地の選定

　大会全体（前半：各地、後半：東横）を考慮した合宿地の選定

5. 観光収入まで含めた経済効果の把握

6. 労働生産性の維持による経済効果の把握

うことを考えてほしいです。ですからなるべく仕事に影響がなくないような日程を考えてみました。
今後の検討課題は上記の通りです。ご清聴ありがとうございました。

Ⅱ．ディスカッション

◆抽選会について

中塚：面白いですね。5 月 10 日に組み合わせ抽選会が開催されます。前半は今までのおさらいで後半は実際どうなるのだろうと聞いていました。
井上試案は解説してもらいましたが、実際の抽選会はどうなるのでしょうか。

井上:出場権を保持している 12 か国以外は出場国が決定していない状態で組み合わせ抽選を行うという、イベントとしてあり得ないことをやるんですね。1 チームだけ予選突破を決めているんですが。2 年前に予選突破を決めている。サッカーのワールドカップは半年前、オリンピックは直前ですね。

中塚：そもそも抽選会をやる日程が早すぎるのでは？

井上：しかし上位 12 チームは出場を決めているので早いということはないです。早い方がいいです。申し訳ないですがこのスポーツにとって予選参加国はどうでもいいんです。

◆テストマッチ（国際試合）のマッチメイクについて

浦和：組み合わせを受けてテストマッチのスケジュールは変更されるのですか？

井上：テストマッチの組み合わせは 3～4 年先まで決定していてそれは変更されません。ワールドカップで同組になったからと言ってキャンセルされたりもしません。

参加者：カナダとアメリカとよくやってますよね。

浦和：日本は開催国だからティア 1 のチームとテストマッチできているのですか？

井上：有力 8 か国とアルゼンチン、イタリアの 10 か国がティア 1 で、日本やジョージア、トンガ、サモア、フィジーなどがティア 2 です。基本的にティアを跨いでのテストマッチは非常に少ないです。
しかし近年ラグビーの普及の観点からワールドラグビーがたまにはティア 2 の国とテストマッチをするように指導していて、その相手として日本が選ばれています。
ひと昔前はヨーロッパのチームが南半球遠征に行く途中、もしくはニュージーランドやオーストラリアが北半球に行く途中に日本か北米に立ち寄って試合をやりなさいという時期もありました。
大相撲と同じで横綱は 15 枚目とやりませんよね。宇良が人気があっても横綱とはいきなりできません。
サッカーはインターナショナルマッチデーが年 6 回ありますがラグビーはウィンドウマンスといって 6 月と 11 月の年に 2 回しか国際試合はやりません。それ以外の期間に開催した際はベストメンバーをそろえなくてもいい。
北半球ではシックスネーションズ、南半球はラグビーチャンピオンシップという有力国同士の対抗戦があります。南北の試合ですが 6 月は南半球で、11 月は北半球でテストマッチは開催されます。
したがって、教育の世界に例えると何年に 1 回しかクラス替えが行われない非常に格差社会です。

日本も何とかここまで（世界ランク 12 位、ワールドカップ予選免除）来たので頑張ってほしいです。

◆実際の抽選について

参加者：5 月 10 日はどうやってグループ分けをするのですか？

井上：これは完全にくじ引きです。組み合わせが決まって対戦カード、日程を決めていきます。サッカーの場合は抽選の際、試合会場や日程も決まりますが、ラグビーはプール分けのみです。

浦和：実際のくじ引きはシード内のくじ引きだけですね。

井上：日本は同じ第 3 シードのアルゼンチン、ジョージアなどと同組にはなりません。

浦和：ランキング 1 位のニュージーランドと 5 位のスコットランドはあり得ますね。

井上：ここは完全なくじなのであり得ます。前回大会フィジーはイングランドと同じグループになっていたのですが。

参加者：ワールドラグビーは平等ではないけど公平な組織なんですね。予選は相当練られたものなのでしょうか。

井上：かなり頭がいいですね。私はいままで何回か予選シュミレーションをしたのですが、今回初めて 21 位が出てきました。ずっとロシアかウルグアイといった 20 位の国が出場してきました。
世界ランキング通りに予選を勝ち抜ける予選を作れという問題を東大の試験に出してもいいかもしれない。

参加者：予選免除組と予選参加組の差は大きいですね。

井上：日本では 3 位で決勝トーナメントに出られなかったと報道されていますが、3 位になって予選を免除されたというのは大きいですね。初めてのことです。

参加者：日本では 3 勝して上に行けなかった始めてのチームと報道されていましたが。

浦和：開催国は予選をどうする予定だったんですか？

井上：実は決まっていなかった。前回大会開催中のワールドラグビーの理事会で開催国は出場権を与えると決まりました。その時は日本は 3 位に入れましたが、そもそも日本が予選免除の 3 位に入れるとは想定していなかったのですね。

中塚：上の 8 つ（IRB ボード国）で回していたから。2 大会まとめて（イングランドと日本）を決めたときに初めて下の国での開催が決まった。

井上：その時に決めてもよかったのですが。南アフリカに負けていればサモアにも負けただろうしどうなったのかな。その時は予選勝ち抜いたら出場としたでしょう。その時は横浜国際に 8 万人集ま

るでしょう。初めて予選ビジネスで成功する大会になるのかもしれなかったです。

◆ワールドカップ期間中の大学ラグビーなど及び他競技との関係について

浦和：ワールドカップ期間中も関東大学リーグや対抗戦は開催されるのでしょうか？

井上：秩父宮はワールドカップが終わってから解体しますからできるでしょうね。日本のトップリーグはワールドカップ期間中はお休みですが、各国のリーグ戦は普通に開催されています。前回大会イングランドは予選敗退しましたが､その翌週から代表選手はクラブのリーグ戦に出場しています。負けたチームは翌週から所属チームで試合に出るのが世界のラグビー選手のフィジカルの強さです。ちょっと理解に苦しむのですが。
日本ではサッカーも代表戦があると J1 は休みですよね。やってもルヴァンカップくらいです。イングランドはシックスネーションズ開催週でも曜日をずらしてリーグ戦を開催しています。
トップリーグが海外の選手から人気があるのもわかりますね。もともと試合が少ないし、11 月は丸々休みだし。

◆キャンプ地について

参加者：20 か国分のキャンプ地はありますか。天然芝で。

中塚：2002 年はサッカーは 16 か国来ましたがキャンプ地は 80 か所ほど立候補しています。

参加者：サッカーで使っているところを提供したり。神戸はノエビアスタジアムを明け渡してユニバ記念競技場を使うようです。福岡はどうするのでしょうか。

井上:以前もお話ししたのですが､一番問題になりそうなのが札幌のプロ野球日本ハムとの関係です。しかもイングランド大会の時もチャンピオンズリーグに出るようなクラブのスタジアムは使用していません。マンチェスターのシティスタジアムは使いましたが、序盤戦なんですね。
バーミンガムのビラパークは極めて短期間の 3 日間に 2 試合やりました。その間アストンビラはアウェーで試合をやっている。芝がかなり傷んだと思いますが。
サッカーの場合、2 週間に 1 回ホームゲームがありますがその間を貸してもらった形です。
オリンピックスタジアムは現在はウエストハムが使っていますが、当時はだれも使っていなかったのでたくさん試合を組んでいます。
ウェンブリーなんてコンサートくらいしかこの時期使っていないですし。
サッカーのインターナショナルマッチデーは 9 月初旬と 10 月中旬に設定されています。2007 年のフランス大会の際にサッカーのフランス代表はスタット・ド・フランスが使えずにパルク・デ・プランスを使っています。パルク・デ・プランスもいいスタジアムですが。

◆ラグビーにおける観客動員

井上：ところでラグビーの世界最大の観客数のスタジアムはどちらだと思いますか？

参加者：ハンプデンパークとか。

井上：カンプノウで行われたフランス選手権（トップ 14）の決勝です。昨年、フランスでユーロを開催していたので開催できる会場がなかった。観客は 99,124 人でした。カードはラシンパリ対ツーロ

ン。例えば浦和レッズ対鹿島アントラーズをソウルの蚕室でやっても 3 万人もいかないでしょう。

中塚：フランス人の割合はどれくらいでしたか？

井上 : ほぼすべてフランス人。FC バルセロナはラグビー部門も持っていて世界最弱のラグビー部とも言われています。
ここまで見てきたように組み合わせは抽選で決まりますが、どのカードをいつどこで開催するかで相当収益が変わってきます。ラグビーのワールドカップは赤字必至で惨憺たる状況になる可能性が非常に高いです。理由はスタジアムが小さいからです。日本で開催され失敗に終わった 2006 年のバスケットボール世界選手権の二の舞になるのではとも危惧されています。
真剣に考えないと国家的な損失になると考えられます。

◆大会入場料金について

浦和：入場料はいかほどが適正と考えられますか？

井上：組織委員会は平均 1 万円を想定していますが、イングランド大会で最もチケットや安価だった試合の 1 つが日本対アメリカ戦でカテゴリーA が 60 ポンド（9000 円）一番安いチケットは 15 ポンド（2000 円ちょっと）です。決勝戦は一番高い席が 715 ポンド（10 万円）一番安価なチケットは 150 ポンド（2 万 2000 円）です。
日本対南アフリカ戦は高い席が 85 ポンド（1 万 3000 円）、安い席が 20 ポンド（3000 円）です。あの試合は結構お手軽に見られたんです。

浦和：ラグビーを見る際に身銭を切ってみる文化があまり日本にはないのですが、大丈夫ですか？

井上：強豪国の試合は埋まるでしょうけど例えばサモア対スペインとかそうですかね。チケットをもらえるなら行きたいけど・・・。
しかし今までの大会でも日本やウルグアイといった強豪国以外の国同士の試合でも満員になっています。今後すべての試合にある程度の金額を払って日本の方が観戦するように働きかけをしていかないといけないです。
例えば釜石で開催するカードは 1000 円にしてでも満員にするとか。相場に見合った価格設定を考えていかないといけない。

浦和：例えば自分が近鉄ライナーズのファンでホームの花園ラグビー場にワールドカップが来るとなったら「ぜひ行きたい」という気持ちになると思います。
そういうファンを増やしていく仕掛けが必要なのではないでしょうか。

◆ラグビー競技のファンをふやすためには

井上 : ラグビーのファンは少ないです。でも早稲田のファンはたくさんいます。これが日本なんです。
東京の国立競技場で鹿島アントラーズが試合をやっても満員にはなりません。都市圏全体で約 3000 万人が住んでいる世界有数の都市ならどんな試合でも満員にならないといけない。
浦和レッズのファンはレッズの試合に、阪神タイガースのファンはタイガースの試合に、チームのファンがその試合に行くのは当たり前ですよね。チームのファンではなくて競技、リーグのファンを増やしていかないといけない。

その観点で成功しているのは MLB ですね。日本人選手がいるチームを中心に見ますという方も多いと思いますが、一方で MLB ならどれを見ても一定の満足を期待できるという面もあります。リーグが試合のレベルを担保する仕組を作っています。
日本のトップリーグもレベルが拮抗していてどの試合を見ても楽しめますし、関係の方には申し訳ありませんが、大学ラグビーを見る気がしなくなります。チケットの価格も大学とほとんど変わりませんし。これからの 2 年間でラグビーを多くの方に知っていいただかないといけないです。
今回のアイルランド戦やルーマニア戦を熊本や静岡で開催することはいいことですね。
フランスは 2007 年にワールドカップを開催する前に 6 から 7 年かけて、フランス代表は全 12 会場で本拠地であるパリを離れてテストマッチを開催しました。先ほどよりお伝えしているように強豪国はテストマッチの数も少なくかなり前に試合の予定が決まっている中でそれをやりました。日本みたいに大正製薬をスポンサーにしてたくさん試合をしている国とは違います。

◆開催地からの参加者より

中塚：最後に開催地からいらっしゃった方からひと言お願いいたします。

参加者 A : 宿泊施設がないことが一番の難点かなと。思った以上に良いカードをいただきまして (笑)・いろいろこれから考えていきたいと思います。

参加者 B：こういう仕組みが分かって初めて我々も受け入れ態勢を準備できるかなと思いました。驚きがたくさんありました。持ち帰って市民と共有していきたいと思います。

井上：開催地側からもっとアピールしていけばいいと思います。静岡は 2 番目に大きいスタジアムを用意しているわけだし。付度をしてもらえる。

中塚：最後にジュビロの長谷川さんから

長谷川：トップチームとして面白いい試合を見せていければということと発信していくことの大事さを感じました。トップリーグは企業スポーツなので予算の枠の範囲でしかチームが活動できないです。現状のルールではヤマハスタジアムを満員にしても入場料収入はすべて日本ラグビー協会に持っていかれて我々は「選手に満員のスタジアムで試合をさせてあげられた。」、また「地元の方にたくさん来ていただいて喜んでいただけた。」といった心の満足だけなんです。
必ずしもすべてのチームが集客に積極的になれない状況です。
今後はトップリーグ事業委員会などでチームから問題提起していかないといけないかなと感じました。

井上：ラグビーワールドカップについて過去 4 年くらい追いかけていますが、ひとまずこれで最後となります。たくさんの方に関心を持っていただきありがとうございます。
このラグビーワールドカップについて追いかけていて、なぜプロ野球のドラフトを学術的にやらないのかなと感じました。競技だけでなくマーケティング、ファイナンスなど様々な要素が絡み合っていて興味深いテーマです。
5 月 10 日以降どのように会場など決まっていくか、皆さん興味を持って見ていってください。

以上